

玉川図書館にある室生犀星像の隣に鳥がいるが、なぜ鳥がいるのか意味があるのなら知りたい。



(左) 玉川図書館の室生犀星像

(右) 犀星像の隣の鳥 (赤丸部分の拡大)

玉川図書館内には金沢の三文豪像が置かれていますが、犀星像の左側にいる鳥に関する問い合わせでした。

この事例では、室生犀星の長女である室生朝子さんの著書を調べてみました。すると、おそらくこれであろうという回答に辿り着きました。

『父室生犀星』という本によると犀星は鳥好きで、「カケコ」「コジュケイ」「ホオジロ」「ウグイス」など、ヒナから育て、詩人たちを呼び、披露の酒宴を開いたりしていたそうです。また、軽井沢の庭に「アカハラ」という鳥がよく降りてきていたので家族でその鳥の水浴びを眺めていたそうです。また、『父犀星の俳景』という本では「アカハラ」に関する句があり、解説によると、犀星が「アカハラ」のために石を組み上げて島のようなものを作ったと記載されています。鳥の像も石の上に乗っているので犀星の作った石を再現したのではないかと推測されます。

詳しい調査内容はこちらをご覧ください。

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000190105](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000190105)